

桐生西ロータリークラブ週報

2012-13年度 R I テーマ

田中作次 2012-13年度 国際ロータリー会長 **Peace through Service**



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 E-mail kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 東郷庸史 広報活動委員長 奥村 勉 広報活動委員 岡田善孝・櫻井和彦
 幹事 坪井良行 クラブ会報編集担当 島嶋隆一 根本正則 (専任編集 IT-Clc0担当)

No. 1882

2013年2月8日発行

祝 第2000回 記念例会

2013年2月1日(金) 報告

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 食 事 |
| 2. 国歌斉唱 | 8. 委員会報告 |
| 3. 四つのテストソング | 9. 記念卓話 群馬大学大学院工学研究科長・工学部長 板橋英之様 |
| 4. 来訪者紹介 | 10. SAAプレゼント抽選 |
| 5. 会長報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 幹事報告 | 12. ロータリーソング 例会終了後定例理事会開催 |

◆ビジター

群馬大学工学部長・同大学院工学研究科長 板橋英之様

◆会長報告 東郷会長

1. 本日は桐生西ロータリークラブの第2000回の記念例会です。記念卓話は、群馬大学工学部長並びに同大学院工学研究科長の板橋英之教授です。第1000回記念例会は平成3年11月15日、創立20年を迎えた年でした。その時の記念卓話は、亡き湯本雄三バスト会長による「創立時代を思い感じたこと」でした。およそ20年に一度のミレニアムの例会を、本年度に迎えることになりまして、光栄でもあり責任の重さを痛感する次第です。残りの任期5ヶ月を気持を引き締めてクラブ運営に努めて参りたいと思います。
2. 先週、抛金委員長から『This Close キャンペーン』をクラブで取り組む事になった旨、お話し頂きました。それに関連したポスターとパンフレットを無料で国際ロータリーから頂けるそうです。事業所等に掲示して頂ける方は、ご協力をお願い致します。
3. ガバナー月信2月号に、ガバナーノミニーに沼田中央RCの生方彰氏が決定した旨が、また、新会員報告に松原豊君と栗原秀一君が紹介されております。

◆幹事報告 坪井幹事

- ◇皆様の椅子の上にオレンジの手提げ袋があります。これは2000例会の記念品ですのでお持ち帰り下さい。
- ◇ポリオプラスキャンペーンのバッジをまだ受け取っていない方はお持ち帰り下さい。
- ◇本日例会終了後、1Fにて理事会を行います。
- ◇ロータリーの友2月号を配布しました。
- ◇ガバナー月信2月号が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇武井善作会員よりニューモラルNo.522を15部頂きました。
- ◇㈱クマヒラ・熊平製作所 会長熊平雅人様(東京RC)より『抜萃のつづりその七十二』を全会員数お贈り頂きました。
- ◇2月4日(月)当会館停電の為、事務局10時オープンです。
- ◇前橋西RC事務局移転のお知らせ(2/4～問屋町HSビル)
- ◇例会変更のお知らせ
桐生中央RC 2/21 太田RC 2/14 安中RC 2/19
伊勢崎東RC 2/25 富岡中央RC 2/14
- ◇クラブ会報が到着しています
桐生RC 1/28 桐生赤城RC 1/22

桐生中央RC 1/17,1/24 桐生南RC 1/16,1/23

◆食事メニュー 1200キロカロリー

豚肉と温野菜のごまだれソース、ツナと大根のサラダ、白飯、海老真丈のクリームグラタン、若鶏と玉葱のスープ、香の物

◆委員会報告

□会計 小林(憲)会計

ロータリーの友誌に、寄附金の領収書と説明書が挟んであります。一番上はロータリー財団の確定申告の寄附金控除の説明書です。寄附金控除は所得控除と税額控除の2つの方法があり、どちらか有利な方で確定申告を行って下さいという書類です。所得控除の場合は領収書だけでOKです。税額控除の場合は、その下の「税額控除に係る証明書」が必要になります。その次に領収書が1～2枚あるかと思いますが、昨年は6月と12月の2回送金した為で、その合計額になります。更にその下は米山奨学の寄附金の領収書です。米山の場合、証明書と領収書が一体になっています。上の領収書は皆様の年会費の中から寄付したもので、年会費が会社の経費になっている場合、寄附金控除は受けられません。下の領収書は米山ボックス抛金額の領収書で、R財団と同様の扱いとなります。

□クラブ運営委員会

◆出席報告 石川出席担当

総数50名 (免除者9名のうち4名出席の為5名を除く)
 出席率対象者45名 出席率対象者出席人数38名
 欠席者7名(内前メイク1名) 出席率86.67%
 前々例会修正出席率87.23% (最終欠席者6名)

□抛金委員会

◆ニコニコBOX 東郷(学)ニコニコBOX担当

記念すべき第2000例会と群馬大学工学部長・板橋英之教授のご来訪を祝して 東郷(庸)君、七五三木君、板橋先生、記念卓話ありがとうございます

坪井君、乾君、石川君、高森君、祝2000例会 斎藤君、栗原(幸)君、霜村君、新井君、金子君、東郷(学)君、船戸君、向田君、前原君

◆ロータリー財団 塚本R財団担当

板橋先生、記念卓話ありがとうございます
 前原君、霜村君、阿左美君、中野君、祝2000例会 金子君、七五三木君、新井君、

◇米山BOX

船戸君、向田君、高森君
船戸抛金委員
板橋先生、記念卓話楽しみにしています
中野君、霜村君、乾君、近藤君、前原君
第2000例会おめでとうございます 齋藤君、
新井君、金子君、船戸君、向田君、高森君

第2000例会 記念卓話



群馬大学大学院工学研究科長
群馬大学工学部長

板橋英之様

「50年後の桐生」

「50年後の桐生はどうなって欲しいか?」、結論から申しますと「桐生をケンブリッジに」と私は考えております。桐生をケンブリッジのような教育・研究・文化の世界的な拠点にしたいという事です。ケンブリッジはロンドンから北東に凡そ80kmの人口10万人位の田舎町です。桐生と殆ど変わりません。桐生がケンブリッジになれない筈はありません。では、何故ケンブリッジが世界の拠点になっているかという、其処にはケンブリッジ大学があるからです。ですから群馬大学工学部が世界の研究拠点になれば良い訳です。我々は今これを目指して頑張っております。

今、地球温暖化・新型コロナウイルス・資源の枯渇等、地球規模の問題が沢山起こっており、日本では少子高齢化や人口減少、大震災もあって戦後最大の危機にあります。再び日本が世界の座を取り戻すのは、リーダーシップを発揮する高度な人材、つまり「イノベーション(革新)人材」が必要となります。既存の学問分野で育成するとその延長線上でしかものを考えられません。本当に新しいものを考えるには、新しい学問領域をつくる必要があります。日本は科学技術が得意ですので、その基盤を成す理学と工学を融合させた理工学という分野をつくって人材を育成するのです。それで群馬大学工学部を、他大学に既存する理工学部とは全く違った、完全に理学と工学を融合させた理工学部に来年度から改組し、理学をキッチリ使えるエンジニアを育成するのです。

それでは、桐生をケンブリッジにして行くにはどうしたらよいか。キーポイントとして、教育・水・エネルギー・ライフスタイルの4つがあります。先ず、『教育』:桐生市に住めば高度な教育を受けられ誰でも群馬大学理工学部に入学できます。『水』:桐生市に住めば世界最高品質の水が蛇口から出ます。『エネルギー』:桐生市に住めば超グリーンな電気がふんだんに使えます。

『ライフスタイル』:桐生市に住めば毎日が大コンパ(まちなかで集う)。この事を可能にする基盤が桐生市そして群馬大学理工学部に培われています。それが実現出来れば最高にハッピーな人生が送れます。そして、その評判が広まれば世界中から優秀な人材が集まってきます。

50年後、桐生がケンブリッジに、群馬大学がMITになることを夢見て邁進して参りますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

《次例会予告》

2月15日(金) 平和フォーラム

シャンティ国際ボランティア会海外事業課アフガニスタン事業担当 萩原宏子様

SAAから
本日のプレゼント

高森 勉君へ



◆クラブフォーラム(1月25日 第1999例会)

前期の活動報告と後期の活動計画について



ロータリー財団・米山・
ニコニコBOX(抛金)委員長

栗原幸三君

前期の活動報告をさせていただきます。前期の達成状況につきましては、皆様にご協力を頂いたお陰で、概ね達成することが出来ました。

後期に入りまして、新年初例会そして先週の例会で多くの皆様から抛金をして頂きました結果、ニコニコBoxは目標額120万円のところ835,000円が集まり、達成率は70%となりました。また、ロータリー財団は、年次寄付の目標額4,800ドルのところ約4,500ドルが集まり達成率が94%、ポリオプラスキャンペーンの寄付は目標を上回り110%、恒久寄付は857ドル集まっております。米山奨学では、当クラブは米山功労クラブとして4,000万円を達成することができ、地区大会では感謝状をいただきました。また会長報告にもありましたように、特別寄附金が3,300万円を超え、第33回米山功労クラブとして感謝状を頂きました。米山Boxは目標額768,000円のところ60万円が集まり、達成率は78%となりました。尚、この中には、普通寄附金として皆様の年会費から3,000円が自動的に寄付されております。

各種表彰では、今年度新たにポール・ハリス・フェロー受賞者が1名、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー受賞者が1名となりました。また2回目以上のマルチプルフェローを受賞された方も4名いらっしゃいました。ベネファクター認証者も1名増えました。また、米山功労者として4名の方に感謝状が授与されました。

今年度のRI会長賞を受賞するには、『あと少し This Close』の大々的な公共イメージキャンペーンを実施して、ロータリーとは何か、何をやる団体なのかを知ってもらう活動を行う必要があります。また全てのクラブ会員が年次寄付を行い、クラブの寄付額が1人あたり100ドル以上になることが求められています。

この『あと少し This Close』キャンペーンとは、“あと少しでポリオを撲滅できるので、皆様のご協力をお願いします”という意味です。先週の理事会で、西クラブ独自のチラシを作って、一般の方々の目に止まるよう、会員皆様の事業所等に置いて頂くことになりました。是非お持ち帰り頂きたいと思っております。

各抛金とも、未だ若干名、全く寄付をされていない方がいらっしゃいます。全抛金とも、早い内に目標額が達成できますよう、重ねてお願い申し上げます。抛金委員会のご報告とさせていただきます。

2月の定例理事会報告は次号に掲載します